

たどく  
にほんご多読ボックス

ごへえつなみ  
五兵衛と津波

小泉八雲 [原作]

NPO多言語多読 [監修]

Taishukan  
Japanese  
Readers

Level

3



TAISHUKAN

にほんご<sup>たどく</sup>多読ボックス  
Taishukan Japanese Readers

Level

3

ご へ え つ なみ  
五兵衛と津波

こいずみ やくも げんさく げんだい  
小泉八雲 [原作] (原題: A Living God)

こじま かんやく  
小島めぐみ [簡約]

たげんご たどく かんしゅう  
NPO多言語多読 [監修]

せんばりえこ さしえ  
仙波梨英子 [挿絵]

大修館書店



昔、海の近くに、小さな村がありました。  
村の人たちは、田んぼで米を作って暮らして  
いました。

この村に、浜口五兵衛という男の人が住んで  
いました。五兵衛はとても広い田んぼを  
持っていて、この村の村長でした。村の人た  
ちは五兵衛が大好きでした。子どもも大人も  
みんな、五兵衛を家族のように、「おじいさ  
ん」と呼んでいました。

五兵衛の家と田んぼは、山の方にありまし  
た。五兵衛の家と海の間には、村人の家や森  
や田んぼがあります。五兵衛は、毎日家から

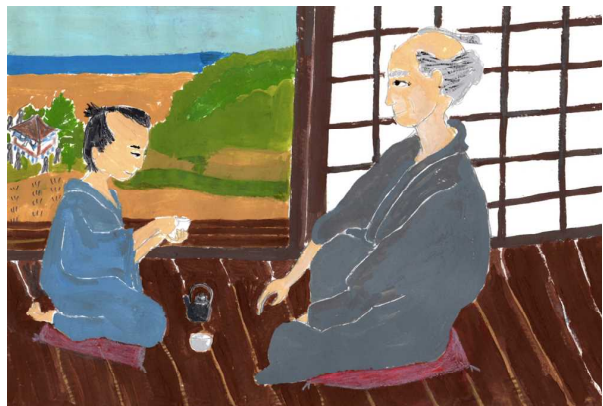
村を見に来ていました。

お祭りが近いある秋の日のことです。

夕方、五兵衛は家から村を見に来ていました。村の人たちは、お祭りの準備をしています。どの田んぼにもたくさんの稲むらがあります。稲むらというのは、取ったばかりの稲を太い棒にかけておいたものです。この稲から米を取るのです。今年は米がたくさん

です。今年米がたくさん

できたので、にぎやかなお祭りになりそうです。五兵衛も一緒に準備をしたかったのですが、風邪を引いたので、家にいました。五兵衛の孫の忠も、一緒に家にいました。



# ごへえつなみ 五兵衛と津波

ある秋の日の午後、五兵衛は高台の家から下に広がる海を  
見ていました。海の様子が変です。五兵衛は思いがけない  
行動をします。原作・小泉八雲。

## *Gohē and a Tsunami*

One autumn afternoon, Gohē was looking from his house on a hill down toward the village and the sea. The sea looked strange. Gohē did something extraordinary to help the villagers. By Koizumi Yakumo, a late-19th-century author.



- 
- |   |    |         |
|---|----|---------|
| 0 | 入門 | Starter |
|---|----|---------|
- 
- |   |      |          |
|---|------|----------|
| 1 | 初級前半 | Beginner |
|---|------|----------|
- 
- |   |      |            |
|---|------|------------|
| 2 | 初級後半 | Elementary |
|---|------|------------|
- 
- |   |     |                  |
|---|-----|------------------|
| 3 | 初中級 | Pre-Intermediate |
|---|-----|------------------|
- 
- |   |    |              |
|---|----|--------------|
| 4 | 中級 | Intermediate |
|---|----|--------------|
- 
- |   |     |              |
|---|-----|--------------|
| 5 | 中上級 | Pre-Advanced |
|---|-----|--------------|
-